

(別紙4(2))

事業所名 グループホーム ちくし永岡の里

作成日: 令和元年11月10日

目標達成計画書

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	2	事業所と地域とのつきあい	利用者の状態や職員の勤務体制によって、地域と交流する機会が減っているなか、人材の確保やボランティアの活用等、工夫しながら交流に努め、地域に開かれたグループホームを目指していく。	運営推進会議の参加委員から、地域行事や活動の情報を得て、ボランティアや家族に協力を呼びかけたり、職員配置を工夫する等して、積極的にホームの外に出かけて交流を広げていく。	12ヶ月
2	37	災害対策	避難訓練を年2回実施しているが、夜間、夜勤者1人で9名の利用者を安全に避難誘導するための訓練を繰り返し行っていく。	職員が利用者役になって、夜勤者と2人で夜間想定訓練を繰り返し行い、夜勤者が自信を持って夜勤が出来る体制を整えていく。また、併設事業所との協力体制の確認を行い、ホーム独自の非常食、飲料水の備蓄にも取り組んでいく。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。